

# 一般質問

計画作成やその推進を求められることとなりますが、今後、その体制及び担当部署はどの様なものにしてゆくのかわかります。

**市長** このことについては、大きな制度変更にもかかわらず、いまだに詳細の方向性が見えない状況にあります。いずれ当市の今後の幼稚園、保育所の在り方については国の「子ども園」が浮上しない段階においても検討の必要性を感じております。これまでも子ども課など子育て支援関係をトータルに考える部署については何度かご提言を頂いており、内部的には検討を続けているところであります。子ども、子育てにかかる窓口及び関係事務を集約する望ましい姿、理想の体制を考える時、制度的な制限と事務所の位置という壁があり、現状では子どもにかかる窓口を一度に一本化することはできないと考えております。しかし、ご指摘のとおり、幼保一体化を早めに検討する必要があります。23年度に検討してまいります。また、新システムの具体検討につきましては23年度から体制を整え国の法律等の行方を見ながら対応してまいりたいと考えております。

## ○中学生のスポーツについて ○学区について



たかはし まさいち  
高橋 政一

**質問** 中学生の部活動は学校内だけでなく、様々な施設で放課後以降の長時間練習や土・日曜日等の練習・練習試合、様々な大会への参加など「加熱するスポーツ活動」とはなっていないか伺います。また、中学校における部活動とスポーツ少年団活動のあり方について伺います。

**教育委員長** スポーツ少年団は地域に指導者があり、学校の部活動とは異なるものであります。学校では、部活動終了後に父母会活動やスポーツ少年団活動に移行して活動しています。指導者や保護者が技術の向上や大会結果に強くこだわるあまり活動が過熱化し、過剰な練習内容や練習時間となり学習への影響や生活リズムの乱れが生じないよう十分配慮する必要があります。

県校長会・中学校体育連盟が提起している月第2・4日曜日の部活動休養日については周知を図つ

ており、ほとんどで実施されると把握していますが、今後調査をします。

**質問** 合併協議事項における学区の編成について現状と将来的に考えていることがあれば伺います。

**市長** 小中学生は学校のみでなく地域の教育力にも支えられています。学区は行政区との関わりがあり、再編の必要性がある場合には丁寧に対応していきます。

**教育委員長** 09年度に学区外通学を許可した児童は113人、生徒は40人であり、よりよい通学環境を整備することを考えながら、許可事由8項目の中で弾力的に運用していきます。



練習に一段と熱が入る柔道部（東水沢中学校）

## ○スポーツ振興について ○奥州市の知名度アップについて



ふじた よしのり  
藤田 慶則

**質問** 県が行っているスパーキッズ発掘・育成事業における奥州市の子供たちの現状について伺います。また、昨年、岩手県の中学生が全国大会において大活躍しておりますが、奥州市の中学生の現状を伺います。

**教育委員長** 応募した小学生5・6年生から選抜された認定者は、本市からは1期生12人、2期生2人、3期生2人、4期生6人の計22人となり、1期生は現在、中学2・3年生となっております。また、中学生において、全国大会参加者は、体操・ソフトテニス・ウエイトリフティング・ソフトボールの個人6人1団体、その内、ウエイトリフティングで女子2人が優勝しております。

**質問** 東京事務所廃止後のシティプロモーションの考え方、また、奥州大使並びにふるさと納税の現状を伺います。

**市長** シティプロモーションは、